

I 次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

妬みは他人が優れたものや特性を有している場合に抱く、苦痛、劣等感、敵対心を伴う感情です。ただし、「他人が優れたものや特性を有しているかどうか」を決めるのは、あくまでもその人の **A** 価値観です。

私たちは物事を評価する時、絶対的な価値よりも相対的な価値に基づいて評価することが多いように思われます。自分が手にしたものの相対的な価値が高ければ、絶対的な価値がそれほど高くなくても心の満足度につながります。反対に相対的な価値が低いと、たとえ絶対的な価値が高くても、必ずしも心は充足しません。

また、相対的な価値は、よく似た物事との比較によって明確になります。

たとえば、あなたがレストランで、 **B** 1本1万円もするワインを飲んでいたらとしましょう。1万円もするワインですから絶対的な価値は高いはずですし、あなたも満足して美酒を楽しんでいました。

しかし、隣の席の人が1本5万円近くする超高級ワインを飲んでしていると知ったらどうでしょう。あなたは妬ましさを感じ、今手にしている1万円のワインのありがたみも失せるかもしれません。隣の人がおいしそうに飲んでいたら **C** です。

ところが、隣の人が超高級な日本酒を飲んでいたらとしましょう。この場合はおそらく、自分が飲んでいるワインのおいしさは失せないと思えます。あなたは自分が飲んでいるワインに満足しており、いくら超高級でも、ジャンルの違う日本酒と比べても仕方がないと考えるからです。

つまり人は、自分が手にしているものとよく似てはいるが、相対的に価値の高いものを他人が手にしているのを見た時、妬みの感情を抱きやすいのです。

これが「隣の芝生が青く見える」理由です。

お隣さんは同じ地域で、同じような住宅に住んでいるはずですが。そのため当事者は必然的に、お隣さんを「同じような経済状況で似通った生活をしている、共通点の多い存在」だと思っています。そして共通点が多いからこそ、自分の庭と比べ、相手の庭の芝生が青々しく見えた時に、羨ましさや妬ましさを感じてしまうのです。

さて、私たちは他人に不幸が起きたり、他人が困っていたりすると、「ざまあみろ」とか「それ見たことか」とか「ちょっと（自分にとって）ラッキー」といった具合に、時にはその不幸を喜び、ある種の心地よい感覚をおぼえることがあります。まさに「他人の不幸は蜜の味」というわけです。

しかし多くの人は、「他人の不幸を喜ぶことは非道徳的なことであり、慎むべきことである」と教えられて育っているため、通常はこうした感情を表に出して、他人の不幸を **D** 喜んだりしません。また、日本でも英語圏でも、この感情は **E** 普遍的なものとして理解されているにもかかわらず、それを一言で表現する単語は存在しません。おそらく「他人の不幸を喜ぶことは慎むべきことである」とされているため、明確に示す単語が生まれなかったり、 **F** 市民権を得られなかったりするのでしょう。

ただしドイツ語には、この感情を言い表す単語が存在します。それは schadenfreude（シャーデンフロイデ）という単語で、schaden（損害）と freude（喜び）の2語をつなげた構成になっています。つまり「損害に伴う喜び」というのが原義です。英語圏では、schadenfreude を外来語としてそのまま使用していますが、あまり一般的な言葉ではなく、大学教授などの学識層でも知らない人はいるようです。

そして、「他人の不幸を喜ぶ」という schadenfreude の感情と妬みには、密接な関わりがあります。人は、相手が妬ましい人物である場合、その人に不幸が起こったことを喜んでしまうのです。

たとえば、IT企業や金融ビジネスで成功し、「ヒルズ族」などと呼ばれて **G-1** よかった人が、個人的な不祥事・スキャンダルや企業業績の悪化といった理由で失脚し、苦境に立たされてマスコミに「失墜」「没落」などと騒ぎ立てられるのを見ると、多くの人は「それ見たことか。ざまあみろ。いい気味だ」といった具合に、ある種の schadenfreude をおぼえてしまうでしょう。

なぜなら、 **G-2** よかった人を妬ましく思っているからです。 **G-3** よかった人たちとは、すなわちお金をたくさん持っている人たちでもあります。人は「他人が自分より優れたものや上質なもの、または特性を持っていて、かつそのものや特性が自分にとっても関連が強く重要である」場合に、強い妬みを抱きます。お金は万人にとって重要なものなので、私たちはお金持ちを妬むわけです。

ほかに、たとえば有名な芸能人、特にイケメンやかわいいアイドルがスキャンダルにみまわれた時、人は schadenfreude をおぼえます。有名人のスキャンダルがマスコミや世間で **H** 取り沙汰される理由の一つに、人々の、彼らの美しい容姿や「偶像化された良いイメージに対する妬み、異性にモテるとかきれいな奥さんがいる」といった特性に対する妬みが関係していると思えます。スキャンダルによって偶像化された良いイメージがなくなると妬む必要がなくなり、人はすっきりした気持ちになれるものだからです。

またスポーツなどの世界では、レベルの低い人が、自分よりも上位の人に妬みを抱くことがあります。野球チームに所属する二人の選手のうち、P選手はベンチ入りすらできず、Q選手がレギュラーで活躍しているような場合、P選手がQ選手に対し妬みの感情を抱いても、不思議ではありません。そして、もしQ選手が不幸にも怪我をし、自分にレギュラーが回ってきたら、P選手はQ選手の身に降りかかった「怪我」という不幸を歓迎し、妬みは解消されるかもしれません。

しかし当然のことながら、Q選手が野球チームでなくサッカーチームに所属していれば、いくらQ選手がレギュラーとして華々しく活躍していても、P選手の中にQ選手を妬む気持ちは生まれません。もしQ選手が怪我をしても、P選手が schadenfreude をおぼえることはないはずです。

このように、他人の不幸を喜ぶ schadenfreude という感情と妬みの感情には、非常に密接な関係があるのです。

一方で私たちは、相手に特に妬みの感情を抱いていない場合、不幸にみまわれた人を心配したり、かわいそうな境遇にいる人に同情したりします。先ほどの例でいえば、もしP選手とQ選手が友人同士で、Q選手がサッカー部に所属していて怪我にみまわれたら、P選手はQ選手の身体を気遣い、同情するでしょう。

**K**、「何かあったのか」と心配するかもしれません。

この時、脳内は他人の苦痛などを理解し、「共感する」という状態になっています。

共感に関して、最近の脳科学の研究により、興味深い成果が報告されています。タニア・シンガーらは男女のカップルを呼んできて、そのうちの女性の脳活動を fMRI<sup>(1)</sup> で調べました。女性参加者は、弱い電気刺激で痛み刺激を自身に受ける場合と、自身は痛み刺激を受けずに鏡越しに、自分のパートナーの男性が同様に弱い電気刺激で痛み刺激を受けている映像を見る場合という二つの条件下で脳活動を測定されました。まず、その以前からわかっていたことですが、女性が痛み刺激を自身に受ける場合に、痛みの脳内過程に関わりのある脳の **ぜんぶたいじょうかい** 前部帯状回や **とうひしつ** 島皮質と呼ばれる部位の活動が確認されたのです。

そして、この研究で新たに、自身は痛み刺激を受けなくても、自分のパートナーが痛み刺激を受けているのを見ているだけで、その痛みに共感し、自身が痛みを感じている時と同じように、脳の前部帯状回や島皮質が活動することがわかりました。つまり、自分の身体が実際にはダメージを受けていなくても、痛みの感覚を他人と共有できるようなメカニズムが、脳内には存在しているわけです。

なお、人は針などで刺されたら、「痛い」「辛い」と瞬時に感じます。また何で刺された刺激なのか、自動的に判別することもできます。「今、先の尖った金属が私の手に刺さったので、私は痛いと感じる」などと理屈で考えてから認識しているわけではありません。無意識のうちに、自動的に素早く物事を認識したり感じ取ったりしているのです。

この理屈抜き、感情的な判断プロセスは「ボトムアップなプロセス」と呼ばれています。

ボトムアップなプロセスによる素早い情報処理のおかげで、人は瞬時に回避行動をとることができます。「今、先の尖った金属が私の手に刺さったので、私は痛いと感じる。だからこの手をよけよう」などとゆっくりと考えていたら、その間に針は皮膚の奥深くまで突き刺さってしまうでしょう。

共感のメカニズムは、ボトムアップなプロセスの無意識で素早い運動と密接に関わっています。

人は誰でも、自分の家族や恋人が痛い目に遭っていたり、苦しんでいたりを知れば、瞬間的に「放っておけない」と感じます。そして、「大丈夫？」と声をかけたり、状況次第によってはかばってあげたり逃がしてあげたりと、救済するためのアクションを瞬時に起こします。もし家族が針でチクチク刺されて、苦悶の表情を浮かべているのを見ながら「家族が針で刺されているな。表情を見ると苦しそうだ。針で刺されて痛いからだろうか。それでは対策を練るとしよう」などとゆっくり考えていたら、家族は傷だらけになってしまうでしょう。

一方で、意識的に物事をよく吟味し、ゆっくり考えて理解することを「トップダウンなプロセス」と呼びます。

共感のメカニズムの中には、トップダウン的なものもないわけではありません。

たとえばテレビで、海外の幼い子どもが労働力として、過酷な環境で働かされている様子が報道されたとします。

多くの人は一般的な道徳観念に基づき、「あんな小さな子が大人たちに利用され、苦痛を強いられてかわいそう」ととっさに感じるでしょう。これはボトムアップな反応です。

しかし、番組を見ているうちに、「かわいい我が子を辛い目に遭わせたいと考えている親などいない」「自分の子どもを労働力として売りに出さなければいけない、やむを得ない事情（経済的や健康上の理由など）があり、親も **L** の選択をしたのかもしれない」といった場合に **M** 背景を押し量り、子どもの親たちに同情したりすることもあり得ます。このような時は理屈で考え、トップダウン的に共感しているわけです。

(注)

(1) 核磁気共鳴を利用して脳の内部を画像にする方法

(高橋英彦著『なぜ他人の不幸は蜜の味なのか』幻冬舎ルネッサンス新書より。原文の一部を改変している)

問1 文中の下線部A「価値観」に関する記述として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a あるものの価値を判断する際には多くの人の意見を聞かないとわからないと思うこと
- b 人間が常識的に持っている、値段が高いものは貴重なものだという考え
- c ものの本当の価値は、どれぐらい多くの人がその価値を認めるかによるという考え
- d 値段が安いものであっても、時間が経てば価値が出てくるだろうという予想
- e 物事を評価する際に基準とする、何にどういう価値を認めるかという判断

問2 文中の空欄 **B** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 挑発して
- b 散發して
- c 奮発して
- d 瞬発して
- e 即発して

問3 文中の空欄 **C** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a それなり
- b 話は別
- c お手上げ
- d これみよがし
- e なおさら

問4 文中の空欄 **D** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 枳然と
- b 歴然と
- c 公然と
- d 愜然と
- e 啞然と

問5 文中の下線部 E「普遍的な」の意味として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 偏見に満ちている
- b 民衆に広く支持されている
- c モラルに反する
- d すべてのものに共通している
- e ある特定の地域で見られる

問6 文中の下線部 F「市民権を得られなかった」とはどういうことか。最も適切なものを下記の選択肢から選び記号で答えなさい。

- a 一般人が普通に使う語にはならなかった
- b 品の悪い言葉として避けられた
- c 外来語として辞典に掲載された
- d 自国の言葉と思わなかった
- e 年長者が主として使う語になった

問7 文中の空欄 **G-1**、**G-2**、**G-3** には同じ語句が入る。最も適切な語句を下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 人当りの
- b 羽振りの
- c 男っぷりの
- d 旗色の
- e 都合の

問8 文中の下線部 H「取り沙汰される」の意味として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 訴訟に持ち込まれる
- b 批判にさらされる
- c 間違っただ情報が流される
- d あれこれうわさされる
- e つまらないものとされる

問9 文中の下線部 J「偶像化された」の意味として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 華麗なものとなった
- b 実際より誇張された
- c 憧れや崇拜の対象となった
- d 大衆に受け入れられた
- e 偽物とすぐにわかった

問10 文中の空欄 **K** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 隣の芝生が増々青くなったら
- b 隣の芝生が枯れていたら
- c 隣の家が増築を始めたら
- d 隣の庭を羨む人がいたら
- e 隣の家が物笑いの種になったら

問11 文中の空欄 **L** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 苦節
- b 苦悶
- c 苦淡
- d 苦肉
- e 苦杯

問12 文中の下線部 M「背景」の意味として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 表には出てこない事情
- b もっともな理由
- c 隠れた親のエゴ
- d 裏から支える勢力
- e 偽物を引き立てるもの

問13 以下の(イ)(ロ)(ハ)(ニ)のうち、本文の内容と一致する文はいくつあるか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- (イ) 他人が自分よりよいものを持っていると思うかどうかの判断はその人が何に価値を置いているかによる。
- (ロ) ある人に対して妬みの感情を持っていればいるほどその人に共感する度合いが高くなる。
- (ハ) 人の苦しみや痛みを自分のものとして考えてすぐに行動できることをトップダウンの行動と呼ぶ。
- (ニ) 「隣の芝生が青く見える」という表現がドイツ語とその他の言語とは違っている。

- a 一つもない
- b 一つ
- c 二つ
- d 三つ
- e 四つ

問14 以下の(ホ)(ヘ)(ト)(チ)のうち、本文の内容と一致する文はいくつあるか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- (ホ) 私たちは、自分が持っているものとよく似たものを人が持っていて、その価値が相対的に相手のほうが高いと妬んでしまいがちだ。
- (ヘ) 自分が持っているものと同じ種類のもを他人が手に入れようと無理をする場面を見ると、妬みの感情が湧くことが多い。
- (ト) 他人が自分よりよいものを持っている場合、それが自分に関係が深く大事なものであると妬みの感情を抱きやすい。
- (チ) 家族や自分の身近な人が危機に見舞われている時に思わず取ってしまうボトムアップというプロセスには危険性がある。

- a 一つもない
- b 一つ
- c 二つ
- d 三つ
- e 四つ

問15 この文章のテーマとして最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a なぜ私たちは他人の痛みには無関心なのか
- b どんな時に他人の不幸を喜ぶ気持ちを感じるか
- c 隣の芝生が青く見えてはいけない理由
- d スポーツ選手に妬みの感情が芽生える瞬間
- e 危機におけるボトムアッププロセスの重要性

問16 「隣の芝生が青く見える」ということわざは、なぜ「隣の芝生でなければならないのか。句読点を含めて50字以内でその理由を述べなさい。解答は、解答用紙の記述問題解答記入欄に書きなさい。

## II 次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

科学というものが、どんなものなのかを、実は学校では教えていない。科学が扱った対象について、あるいは成果についてならば、あれもこれも教えてもらえる。しかし、そもそもその科学が何なのか、を説明した文章をあまり読んだことがない。

僕は、これまでに科学関係の本を沢山読んだ。ちらりと見たものも含めれば、何千冊という数になるだろう。それらの中には、一般の人に向けた易しい解説書もあった。タイトルに、「科学とは」というような文句を謳ったものもあった。ところが、中身を読んでみると、実験はこんなに楽しい、こんな身近な不思議がある、もっと自然に目を向けよう、宇宙に興味を持つことは素晴らしい、というようなことが書かれているだけで、「科学とは何か」は明確に示されていない。どんなものが科学で、どんなものが科学ではないのか、どこに境界があるのだろうか？

もちろん、それが明確に書かれている本も幾つかある。それらの多くは、「非科学」について述べられたものだった。簡単にいえば、オカルトのものである。心霊現象、超能力、UFO、一部の新興宗教、一部の治療行為など、もちろんすべてを同じ集合に入れることもまた非科学的だが、そういったいわゆる「似非科学」に惑わされる人たちに向けて書かれた内容だった。A. そういった本はまだ少ない。特に、その種のものが本当だ（あるときは科学的だ）と主張する本に比べるとずっと少ない。

時代を遡ってみても、今ほど科学が浸透した時代はない。どんどん科学的になっているし、非科学的なものも排除されている。それは、もちろん教育の賜であるし、また情報が広く公開され、法的にも規制されつつあるおかげである。だが、それでも、身近なところに非科学的な事例は沢山ある。数々のダイエット法はどうなのだろう。マイナスイオンのエアコンはいったいどんな効用があるのだろうか（それ以前に、マイナスイオンって何のことだろう？）。パワーストーンのパワーって何だ？（僕が一番パワーストーンに相応しいと思うのは石炭だが）。

自分は非科学的なことは信じない、と胸を張っている人でも、家を建てるときには地鎮祭をする。身内で不幸があれば、大金を払って戒名をつけてもらう。また、普通の人ならば、お神籤や占いを気にするだろうし、夜中に墓場を散歩するのも嫌がるだろう。血液型で性格や相性がわかるとか、葬式を友引にしていけないとか、いったい誰が言い出したことだろう？

じっくりと考えてみたら、B. に大勢が今も縛られているのは事実である。おそらくは、特に科学的根拠はないけれど、「信じる信じないは個人の勝手だ」という主張だろう。そこまでいなくても、「実害がないのだから、べつに良いのでは？」という寛容だろう。

そういうものに支配されている人を非難するつもりはない。「従っていれば損はない」「そのルールを破ると周囲から文句を言われる」という C. が、これらが持続している原動力である。ある意味で、これは集団のシンボル、つまりユニフォームや合唱みたいなのであり、群れにおける「安心」の演出法といえるものだろうから、文句を言う筋合いではない。平和なことだと思う。

D. もし知らずにいたら、少し問題だと思う。疑問に思わないことは、非科学的な生き方である。そういう生き方は、損得で考えれば、明らかに損だ。

周囲の人に合わせた方が良い場合は、合わせれば良い。しかし、そうでない場合にまで何の理由もないこ

とに従わなければならないのは、はっきりいって不自由である。しかも、そういう余計なことは、単に時間を取られるだけではなく、多額の出費まで強いられる。具体的な例を挙げればきりがないけれど、たとえば、「墓を作らなければならない」とか、「仏壇を買わなければならない」とか、そういう類のことである。「高い印鑑でないと不幸を招く」と言われたら従うのか。金を払って運勢を見てもらったあげく、さらになにかを買われるのは、いかがなものか。

いや、いくら非科学的でも、E. と余裕を持って考えられる人はそれで良い。その余裕にはたしかに心理的な価値があるかもしれない。最終的には個人個人の安心が目的だから、個々の問題に口を出すつもりはないけれど、本気で信じている人がいるのだとしたら、やはりそれは問題なのではないか。

「幽霊はいると思いますか？」という質問を何度か受けたことがある。その質問をしたのは、国立大学の理系の学生たちだった。科学に対して平均以上の学力（知識）を持っている人間でも、そんな質問をするのである。

まず、この「いると思いますか？」という質問が変なのだ。僕がどう思っているのか、ということは、ものの存在とは無関係なのである。おそらく、「幽霊の存在を信じますか？」ということがききたいのだと想像するが、この質問でもまだおかしい。何故なら、F. このとき僕はこう答えた。「幽霊というものが何かを僕は知らないで、その質問には答えられない」と。ちなみに、「タイムマシンは可能ですか？」という問いにも、同様に、「タイムマシンが何か、僕は知らない。時計のことですか？」と答えた。

幽霊とは何だろう？まずそれが G. されていない。「あの人が見たと言っているものです」くらいの説明しかなされないのだ。幽霊は物体だろうか？物体ならば重さがある。浮いているとしたら、空気と同じ密度になるだろうから、簡単に風で飛ばされてしまうだろうし、気体ならば H. してしまうだろう。たとえ気体であっても、ガラスや壁を通り抜けることはできない。では、幽霊は物体ではなく、現象だろうか。もしそうならば、その現象を発生させる物体がどこか近くにあるはずである。

この世にあるもので、広く存在が認められているものと、一般には認められていないものは、どこに境があるのだろう。それを少し考えてみてほしい。

「幽霊だって、UFOだって、自分がこの目で見たら信じるよ」と言う人はとても多い。僕はそれもやはり正しいとは思わない。自分で見たものがそこまで信じられるだろうか？（他人が見た場合よりは、はるかに信じられるが）毎日のように見る夢は、この世に存在するものだろうか。見間違いというのは、普通にあることではないか。

ネス湖の恐竜のように、写真があり、目撃者が大勢いた事例もあった。しかし、あれだって、ある人の悪戯だったことが既に判明している。スプーンを曲げる超能力者がいて、日本人の少年超能力者が話題になったこともあるけれど、これもイカサマだったと判明している。つまり、「この目で見た」ものが正しいなんて、とてもいえないのではないか。

昔は写真は真実の証拠だったけれど、K. 捏造できることを今では誰もが知っているし、デジタルによる修整も簡単になった。草原や畑に丸い跡を残す、いわゆるミステリイサークルは、宇宙人の仕業なのだろうか？「そうとしか考えられない」と主張する人もいるけれど、誰だってできることではないか。ピラミッドもモアイ像も、べつに宇宙人の手を借りなくても建設は可能だ。今のところ、これは人間にはとうてい無理だという凄い工作物は、僕が知っている範囲では世界に存在しない。

自分の目で見ただけからといって考えが変わるわけではない。自分がどう感じようが、また自分が信じようが信じまいが、科学か非科学かの評価には影響しないのである。そもそも、科学は「信じる」ものではない。「正しそうだ」という予測はできるし、研究の当事者ならば、「真実であってほしい」という願望もあるだろう。

**L**。信じて、正しさが確かになるわけではないのだ。

では、科学と非科学の境界はどこにあるのだろうか？

実は、ここが科学の一番大事な部分、まさにキモといえるところなのである。

答をごく簡単にいえば、科学とは「誰にでも再現ができるもの」である。また、この誰にでも再現できるというステップを踏むシステムこそが「科学的」という意味だ。

ある現象が観察されたとしよう。最初にそれを観察した人間が、それをみんなに報告する。そして、ほかの人たちにもその現象を観察してもらうのである。**M**、同じ現象をみんなが確かめられたとき、はじめてその現象が科学的に「確からしいもの」だと見なされる。どんなに偉い科学者であっても、一人で主張しているうちは「正しい」わけではない。逆に、名もない素人が見つけたものでも、それを他者が認めれば科学的に注目され、もっと多数が確認すれば、科学的に正しいものとなる。

このように、科学というのは **N** に類似した仕組みで成り立っている。この成り立ちだけを広義に「科学」と呼んでも良いくらいだ。なにも、数学や物理などのいわゆる理系の対象には限らない。たとえば、人間科学、社会科学といった分野も現にある。そこでは、人間や社会を対象として、「他者による再現性」を基に、科学的な考察がなされているのである。

この「他者による再現性」を確認するためには、同じ分野の学者、研究者、専門家が相互に情報交換をしなければならない。情報を公開しないと、それを他者が確かめることができない。したがって、秘密裏に行われる研究というのは、**P**。

(森博嗣著『科学的とはどういう意味か』幻冬舎新書より。原文の一部を改変している)

問1 文中の下線部 A「そうだった本」の内容として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 科学研究の成果について一般向けに書かれた本
- b オカルトものに騙される人へ向けて書かれた本
- c 実験の楽しさや身近な不思議について伝える本
- d オカルトの魅力について詳しく解説された本
- e 心霊現象や超能力などが科学的だと主張する本

問2 文中の空欄 **B** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 年長者の意見
- b 根拠のない「成り行きのルール」
- c インターネット上のうわさ
- d 私たちが無意識に行っている習慣
- e 信教の自由

問3 文中の空欄 **C** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 合法性
- b 必然性
- c 整合性
- d 協調性
- e 信憑性

問4 文中の空欄 **D** に入るものとして最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a そうは言っても、それらが単なる迷信であることを誰かが伝えなければならない
- b とはいえ、マイナスイオンやパワーストーンが何かを本当に知る必要はあるだろうか
- c ただ、それらが根拠のない非科学的なものであることを知っているかどうかは大きい
- d 血液型で性格や相性がわかるとか、葬式を友引にしていけないのは、誰もが知っていることだ
- e この群れにおける「安心」の演出法を知っていることは社会人としての条件だ

問5 文中の空欄 **E** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 時間の問題だから
- b 心の問題だから
- c 社会の問題だから
- d お金の問題だから
- e 他人の問題だから

問6 文中の空欄 **F** に入るものとして最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 僕ら科学者が、幽霊や UFO といった超常現象を信じるはずがない
- b この質問に答えるための十分な証拠が現代科学では見つかっていない
- c 僕が信じたところで、それが本当になるわけではない
- d 「信じるか信じないか」という学生たちの質問の意図がわからない
- e ものの存在というのは、「信じるか信じないか」という問題ではない

問7 文中の空欄 **G** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 協議
- b 承認
- c 選択
- d 定義
- e 意見

問8 文中の空欄 **H** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 拡散
- b 閑散
- c 分散
- d 発散
- e 放散

問9 文中の下線部 J には「僕はそれもやはり正しいとは思わない」とある。筆者がこのように述べる理由として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 幽霊や UFO などは存在するはずがないから
- b 「信じるか信じないか」は個人の自由だから
- c 視力が悪い人も当然いるだろうから
- d 目に見えることすべてが真実ではないから
- e 世間一般の人がそう言っているだけだから

問10 文中の下線部 K 「捏造」の意味として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a いくつかの材料を組み合わせでこしらえること
- b こっそりと造ること
- c 周囲の反対を押し切って加えること
- d 事実でないことを事実のようにこしらえること
- e 既存の物の形状・内容に変更を加えること

問11 文中の空欄 **L** に入るものとして最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a それに、予測は外れるものである
- b だから、そういう人を責めることはできない
- c しかし、「正しい」ことがすべてではない
- d また、「正しさ」とは人それぞれなのだ
- e でも、「正しい」と信じるものではない

問12 文中の空欄 **M** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a その一方
- b その結果
- c それでいて
- d そのうち
- e その通り

問13 文中の空欄 **N** に入る語句として最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 社会主義
- b 成果主義
- c 資本主義
- d 平和主義
- e 民主主義

問14 文中の空欄  に入るものとして最も適切なものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 結果を出すことがすべてである
- b 行ってもかかった費用が回収できない
- c 結果だけを公開しても「科学」にはならない
- d 結果を公開したくないと思われても仕方がない
- e 独占欲が強いと思われる

問15 以下の文章のうち、筆者が文中で述べていることと一致しているものはどれか。下記の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- a 人間や社会は、科学的考察の対象にはならない。
- b 非科学的な行動をとると、時間やお金がとられる場合がある。
- c 幽霊というものは科学的に証明できないので、授業では扱わない。
- d 科学と非科学の境界線は、研究すればするほど曖昧になる。
- e あるものが真実と認められるには、専門家がはっきりと意見を述べる必要がある。